



古賀市記者懇談会（1月）

令和4年1月21日(金) 13時30分～

会場: 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①地元の魅力を再発見! 「小野校区写真コンテスト」を開催【P1】

【古賀市役所】(問い合わせはまちづくり推進課 智原=092-942-1165)

古賀市小野校区運営協議会は、広く校区内の魅力を再発見するための機会創出として、平成29年度から「ふるさと自慢ひと自慢 小野校区写真コンテスト」を開催しています。

今回で5回目となる今年度も、コロナ禍で実施可能な数少ない活動として例年通り開催し、114点もの応募作品から入賞作品29点を決定しました。地元の小野小学校の協力を得て取り組んだ、「コロナ禍の中の子どもたち」をテーマにした特集では、子どもたちの日常を切り取った、たくさんの写真が寄せられました。

②「日台友好マスク 感謝の気持ちを伝える会」を開催

台湾へ届け! 子どもたちから「非常感謝(ありがとう)」【P2】

【古賀市役所】(問い合わせはまちづくり推進課 飯尾・渋田=090-942-1165)

新型コロナワクチンが不足していた台湾に、日本政府がワクチンを供給したお礼として日本にマスクが寄贈され、そのうち昨年9月に古賀市に1万6千枚のマスクが届きました。本市では、代表して花鶴小学校で寄贈式を実施、修学旅行に出発する市内全小学校の6年生及び全中学校の2年生、そして受験を控えた中学3年生などに配布しました。

マスクをもらった子どもたちが「台湾の人たちにお礼の気持ちを伝えたい!」と寄せ書きなどをそれぞれの学校で作成しました。そこで、子どもたちの想いと手作りの作品を台湾に届けるため、台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊(ちんめいしゅん)総領事一行を招き「日台友好マスク 感謝の気持ちを伝える会」を開催します。

③第4回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」【P3】

【古賀市役所】(問い合わせは文化課 新本=092-940-2683)

第4回となる古賀市コレクション展、今回は昨年を引き続き、古賀市を代表する画家の赤星孝・信子夫妻の作品を展示します。一昨年開催された福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」の展示作品をはじめ、ご遺族から寄贈された素晴らしい作品が並ぶ貴重な機会です。

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川=092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程(予定)

- ・2月17日(木) 13時30分～ 場所: 古賀市役所中会議室
- ・3月24日(木) 13時30分～ 場所: 古賀市役所応接室 A

地元の魅力を再発見!「小野校区写真コンテスト」を開催

古賀市小野校区運営協議会は、広く校区内の魅力を再発見するための機会創出として、平成29年度から「ふるさと自慢ひと自慢 小野校区写真コンテスト」を開催しています。

今回で5回目となる今年度も、コロナ禍で実施可能な数少ない活動として例年通り開催し、114点もの応募作品から入賞作品29点を決定しました。地元の小野小学校の協力を得て取り組んだ、「コロナ禍の中の子どもたち」をテーマにした特集では、子どもたちの日常を切り取った、たくさんの写真が寄せられました。

■目的

写真を通して小野校区の魅力を再発見する機会を創出し、区民にふるさとへの誇りと愛着を持ってもらうとともに、校区外の市民にも小野校区の魅力を広く発信するため。

■募集要項など

募集作品：過去5年以内に小野校区内で撮影された風景写真及び人物写真

作品募集期間：令和3年8月1日（日）～9月30日（木）

応募規定：校区内で撮影された未発表の作品。1人5点以内。校区外の人でも応募可能。デジタルデータ、現像写真、インスタグラム投稿により提出。

募集部門：風景部門及び人物部門

特集：コロナ禍の中の子どもたち（小野小学校に依頼）

■実施内容

過去最大の風景部門62点、人物部門52点あわせて114点が集まりました。10月20日に九州産業大学名誉教授の小河修次氏（古賀市薬王寺区在住）が審査委員長を務める審査会を実施、入賞作品29点を決定しました。

入賞作品は例年「野幸山幸おのまつり」で展示をしていましたが、コロナ禍の影響で、昨年度から大型テレビを活用して各自治会の公民館で移動展示を行う方法に切り替えました。また作品集を制作することで、多くの市民にふるさとの魅力が認知される機会をつくりました。

■移動展示日程

1月9日（日）薦野区公民館、16日（日）米多比区公民館、23日（日）薬王寺区公民館、30日（日）小山田区公民館、2月6日（日）谷山区公民館

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課地域振興係 担当：智原
電話：092-942-1165

「日台友好マスク 感謝の気持ちを伝える会」を開催

台湾へ届け！ 子どもたちから「非常感謝（ありがとう）」

新型コロナワクチンが不足していた台湾に、日本政府がワクチンを供給したお礼として日本にマスクが寄贈され、そのうち昨年9月に古賀市に1万6千枚のマスクが届きました。本市では、代表して花鶴小学校で寄贈式を実施、修学旅行に出発する市内全小学校の6年生及び全中学校の2年生、そして受験を控えた中学3年生などに配布しました。

マスクをもらった子どもたちが「台湾の人たちにお礼の気持ちを伝えたい！」と寄せ書きなどをそれぞれの学校で作成しました。そこで、子どもたちの想いと手作りの作品を台湾に届けるため、台北駐福岡経済文化弁事処^{ちんめいしゅん}の陳銘俊 総領事一行を招き「日台友好マスク 感謝の気持ちを伝える会」を開催します。

■目的

困っている時にこそ助け合うことが大切です。「ありがとう」の双方のやりとりを通じて、国や地域を超えて、みんなで協力し合える世界を創っていくことを子どもたちが実感できたら…

1つ1つの小さな積み重ねが、国際交流にとって極めて重要であることを認識し、この一連の交流を通じて子どもたちの国際感覚の醸成につなげていきます。

■日時など

日 時：1月27日（木）14時30分～15時15分

場 所：古賀中学校 体育館

参 加 者：古賀中学校 2年生全員

市内8小学校から 各校代表児童2名

市内2中学校から 各校代表生徒2名

引率者各校1名

事業概要：市内全小・中学校（8小学校、3中学校）から、順番に台湾へお礼の言葉をリレー方式で届けます。お礼の言葉終了後に、それぞれの学校で作成したお礼の品を贈呈します。また、台北駐福岡経済文化弁事処からも子どもたちにメッセージがあります。

※同日、上記終了後、陳銘俊（ちんめいしゅん）総領事一行を下記市内名所に案内予定。

- ・農産物直売所 コスモス広場
- ・快生館、鬼王荘（薬王寺温泉）
- ・台湾へいちごを輸出している農家（JA 粕屋いちご部会）のいちご畑

※新型コロナの影響でオンライン開催になる場合があります。

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係
担当：飯尾・洪田 電話：092-942-1165

第4回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」

第4回となる古賀市コレクション展、今回は昨年に引き続き、古賀市を代表する画家の赤星孝・信子夫妻の作品を展示します。一昨年開催された福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」の展示作品をはじめ、ご遺族から寄贈された素晴らしい作品が並ぶ貴重な機会です。

■実施日時など

事業名：第4回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」

日時：令和4年1月29日（土）～2月23日（水・祝）10時～18時

場所：リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー 入場無料

内容：ご遺族から寄贈された赤星孝・信子夫妻の作品約20点を展示

※月曜休館

■目的

古賀市を代表する画家赤星孝・信子夫妻の作品の素晴らしさをひろく知ってもらう機会にするだけでなく、市民が本物の美術作品に触れる機会を提供する。

■参考

【赤星孝氏(1912年～1983年)略歴】

粕屋郡青柳村（現 古賀市青柳）に生まれる。第2回独立展で初出展ながら初入選を果たす。上京し帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）に入学。戦後の福岡県美術協会再建に参画。1961年以降は二度渡欧し、自らの絵を追求していく。後に古賀市にアトリエを構え、晩年には福岡市文化賞を受賞。

【赤星信子氏(1914年～2015年)略歴】

第6回独立展で初入選を果たす。上京し、女子美術専門学校洋画師範科（現・女子美術大学）入学。1945年に孝氏との結婚後も筆を執りながら、福岡県美術展審査委員等も務める。1990年に福岡市文化賞受賞。2015年には福岡県地域文化功労者表彰を受賞。

■主催

古賀市・古賀市教育委員会

【問い合わせ先】

古賀市役所 文化課文化振興係 担当：新本
電話 092-940-2683